

第13回 水環境に関する講演会

入場
無料

「市民参加、官民連携による流域再生と地域づくり」

大台ヶ原に降った雨は、水源地の森にたくわえられ、吉野川になって流れ出し、多くの支川を集めながら、紀の川となって紀伊水道へ注いでいます。この川の水は、流域に生息するあらゆる生命の源であり、私たちの暮らしを支え、私たちの歴史や文化を育んできました。しかし、水質汚濁や森林の伐採などのため水環境は年々厳しくなっています。私たちは、川の水が有限で貴重な資源であることを深く理解しなければなりません。流域の豊かな水環境と自然環境を次の世代に引き継いでいくため、源流から河口までひとつの川で結ばれた流域の自治体は平成16年11月に本協議会を結成し、現在、14市町村で連携して川の水環境を守る活動をしています。

講演概要

近年、市民が主体となり、行政・企業・市民それぞれの強みを活かして流域再生と地域づくりにつなげる事例が増えてきています。

本講演では、市民が雨水の貯留・浸透に取り組むことで川の水質を改善し、魅力的な水辺を作りだすニューヨーク市ゴワナス運河再生の事例や学校での川学習を通して都市河川の源流を再生する東京・善福寺川の善福蛙の事例、全国で展開される川の利活用推進プロジェクト「ミズベリング・プロジェクト」の事例などを紹介しつつ、地域にとって愛される川や市民参加、官民連携の川づくりにとって大事なことは何かを皆さんとともに考えます。

講師



滝澤恭平 氏
水辺総研 取締役

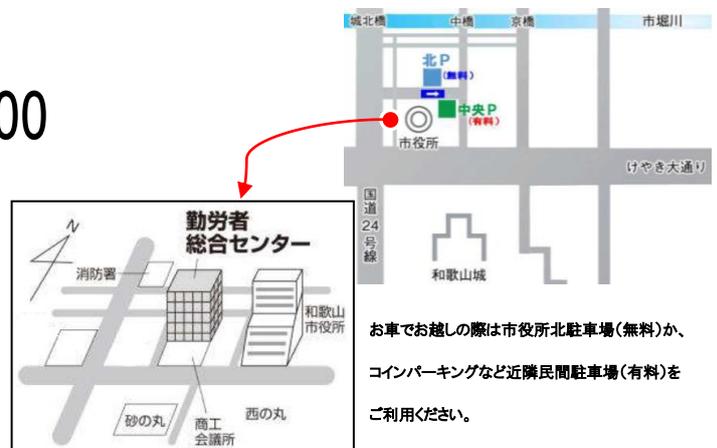
1975年生まれ。1998年大阪大学人間学部卒業。角川書店にて編集者として勤務。2007年工学院大学建築学科卒業。ランドスケープデザイン会社、ブランドコンサルティング会社を経て、2011年から独立。2014年東京工業大学大学院社会理工学研究科修士課程修了。2015年株式会社水辺総研を共同設立者として立ち上げ。国土交通省の河川利活用プロジェクト「ミズベリング」事務局のディレクターを務めるほか、地元の水辺である東京都善福寺川を市民力で里川に変える「善福蛙」でも事務局長として活動するなど、全国の水辺のまちづくりを精力的にサポートしている。

日時

2017年11月26日(日) 13:30~15:00

場所

和歌山市勤労者総合センター
和歌山市西汀丁34番地 市役所西隣



お車でお越しの際は市役所北駐車場(無料)か、コインパーキングなど近隣民間駐車場(有料)をご利用ください。

主催／吉野川・紀の川流域協議会

構成団体／川上村・東吉野村・吉野町・黒滝村・下市町・大淀町・五條市・橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町・紀の川市・岩出市・和歌山市

問合せ先・事務局／和歌山市企画課 TEL.073-435-1015